

後援会だより

札幌大学と保護者を結ぶホットライン

札幌大学後援会広報誌

Vol.41

発行/札幌大学後援会事務局 発行日/2013年10月30日 〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1札幌大学内 TEL(011)852-9749(直) http://blg.sapporo-u.ac.jp/koenkai

平成25年度札幌大学後援会総会及び保護者懇談会

保護者の皆様と大学、後援会を結ぶ毎年恒例の最大イベント！ 平成25年度札幌大学後援会総会、保護者懇談会をレポート！

「札幌大学後援会総会」は保護者の皆様に対し、「理解と協力」を賜るための重要な情報交換の機会です。本年は6月8日土曜日の開催となりました。総会に引き続き、保護者懇談会も開かれ、「ご子女の学生生活や進路など、中身の濃い話し合いが行われました。今回は有意義な会合となった総会と懇談会の概要をお伝えします。

札幌大学後援会総会

日時/平成25年6月8日(土) 午前11時
会場/札幌大学2204教室

会場の2204教室には多くの会員の皆様にご出席いただき、予定通りのスタートとなりました。議事は平成24年度事業報告からスタート。年々充実度を増す内容は、満場一致で承認されました。続いて行われた審議事項は会長交代について。長年ご尽力いただいた対馬徳昭会長に代わり、会員の皆様の承認を得て、猪狩哲夫氏が新たな会長に選任されました。早速、新会長に就任した猪狩氏が挨拶のマイクを握り、ご出席の皆様の前



で今後への意欲と抱負を述べ、大きな拍手をいただきました。その後、改めて司会進行を猪狩新会長が務め、平成24年度決算報告、会費の納入状況などが全会一致で承認されました。続いて平成25年度の事業計画について説明・提案があり、学生の課外活動、奨学金への援助、学外研修、資格取得や受験への資金援助、外国人留学生への援助など各種補助事業が審議の結果承認され、後援会は新体制のもと、新たな船出を迎えました。



新しく後援会長に就任された猪狩哲夫氏

活気あふれる総会終了後、後援会から札幌大学に対し援助金の贈呈式が挙行されました。猪狩新会長から桑原真人学長に目録が手渡され、「学生が充実したキャンパスライフを過ごせるように、有意義に活用させていただきます」と、御礼の挨拶がありました。保護者の皆様の承認を得て、後援会はその役割を果たすべく、すでに新たな活動を展開しています。

札幌大学保護者懇談会

日時/平成25年6月8日(土) 午後1時
会場/札幌大学プレアホールほか

毎年多くの保護者の方が参加され、状況を呈する「保護者懇談会」が後援会総会と同日の午後1時より「プレアホール」にて開催されました。これまで3、4年生の保護者の方を中心に集まりたいでしたが、今年からは札幌大学への入学を検討されている高校生の保護者の皆様の参加枠も設けられ、多くのご出席をいただきました。札幌大への関心が高まっている一つの証明と捉え、感謝とともに、その期待に応えなければならぬという責任の大きさも痛感しています。懇談会は開会の挨拶で幕を開け、完成したばかりの札幌大学を紹介するDVDを上映。その後、桑原学長と後援会の新会長に就任した猪狩哲夫氏より挨拶がありました。続いて大学生活と就職状況と対策について、それぞれの担当者より説明があり、特に保護者の皆様の関心が高い就職状況説明会では、「キャリアサポートセンター」の積極的な利用を促すとともに、担当者より保護者の皆様に向け、「複雑化・多様化した就職活動に臨む学生に対する「理解と見守り」を重ねてお願いました。



本田優子副学長

札幌大学後援会長 就任のご挨拶

この度の平成25年度札幌大学後援会総会におきまして、はからずも新たに会長に選任されました猪狩哲夫です。会員の皆さまにあらためてご挨拶を申し上げます。

札幌大学後援会は平成元年に設立されて以来、山崎初三郎初代会長、そして対馬徳昭第二代会長のもと、札幌大学と会員の皆さまとの連携を密にして、相互の理解と協力によって大学の発展に大きく寄与してまいりました。これまでご尽力いただいた方々の労苦と功績に感謝申しあげるとともに、その志を絶やすことなく引き継いで行かなければならぬものと思っております。

ご承知のように、今年度から札幌大学は「地域共創学群」に組織再編され、女子短期大学部も「キャリアデザイン学科」1学科体制になり、それぞれ新たなスタートを切りました。札幌大学を取りまく環境は大変厳しいものがありますが、それは一人一人札幌大学のみならず、グローバル化社会においては常に教育改革・大学改革を先取りして行かなければ生き残れないことを示しているのだと思います。

私は札幌大学の卒業生の一人でもあります。会員の皆さまと知恵を出し合い、力を合わせて母校の発展に尽くしたいと思っております。どうぞよろしくご指導ご支援をお願い申し上げます。



札幌大学後援会
会長 猪狩 哲夫 さん

参加された保護者の声

- 全体説明の内容について**
札幌大学がどのような活動をして何を大事にしているかが伝わってくる内容だった。就職活動についての支援体制がイメージでき、参加して良かったと思います。
- 保護者懇談会または本学について**
キャンパスの緑も美しく図書館やSUICCの雰囲気もよく、とても良い大学だと思います。学生支援オフィスの丁寧な対応も札幌大学の素晴らしい特徴の一つとして誇れると思いました。
- 個別懇談での説明・対応について**
普段の子供の様子を聞かせていただきとても楽しかったです。勉強のことと生活のこと、これからのことにアドバイスいただき、大変参考になりました。

CONTENTS

- 札幌大学後援会総会
保護者懇談会
後援会長就任挨拶……………1面
- 課外活動報告
(Xスポーツ・軽音楽部)
文化系サークル補助金交付式……………2面
- SUICC・就職状況……………3面
- 平成24年度事業活動及び
平成25年度事業計画……………4面

構内に300m² オーバーの 屋内スケートパークをオープン!! 目指すは、Xスポーツの活性化と 人材育成!!

スケートボードやスノーボード、サーフィンといったXスポーツの本格的な滑りを可能にした屋内スケートボードパークが本学構内にこのほどオープン。国内の大学では初となる画期的な施設について、プロジェクト推進の中心となった橋本さんに伺いました。



すり鉢状のスクエアホールに加え、スノーボードのハーフパイプをイメージした練習や、サーフィンをイメージした滑りも可能なビッグボウルを設置。そのほか、ステア（階段）や、ハンドレール（手すり）、バンク（スロープ）を備え、街中を再現したストリートセクションも開設。さらに、初心者が安心してスケートボードを体験できるフラットゾーンも完備するなど、300m²オーバーの本格的なスケートボードパークとなっています。

X-sports

世界的な潮流と 学内の盛り上がりに対応

Xスポーツとは、「エクストリームスポーツ」の略称で、速さや高さとともに、華麗な技を競い合うもの。スケートボードやスノーボード、自転車のBMXなどがこれにあたり、近年はオリンピックの新興目として採用される競技もあるなど、その人気は確実に高まっています。こうした世界的な潮流に乗って、札幌大学でもスノーボードやサーフィンを愛する人たちが集まり、2010年にXスポーツ研究会を立ち上げました。その推進役が、自らもサーファーとして世界各地の波を経験し、指導員の資格も有する橋本さんです。

「それまでサーフィンはサーフィン、スノーボードはスノーボードと、個々に活動をしてきた人たちが、Xスポーツという括りで集めました。団体として活動していくことで発進力を強化し、さまざまな可能性を広げていきたいですね」と、橋本さんは言います。

世界的なムーブメントと学内の盛り上がりに対応するため、本学も全面的にバックアップ。国内の大学では初となるキャンパス内スケートボードパークの建設に着手しました。研修センター内の使用されなくなったプールをリニューアル。このたびの完成を祝し、9月29日にオープニングイベントを挙行了しました。高校生を対象にしていることから、オープニングパスとともに開催され、当日は「一度体験してみたい」という多くの高校生で賑わいました。

オープンを起爆剤に競技の 普及と活性化を推進

現在、Xスポーツ部は体育連合会準加盟の正式な部として認定され、30名以上の部員数を数えます。同部では、サーフィン、スノーボード、スケートボードの3Sを活動の主体としており、オールシーズン利用可能な屋内施設の完成を機に、今後は札大Xスポーツ部のみならず、小学生から高校生までを対象としたXスポーツプロジェクト「SKIDS」（めえいず）認定団体公認予定）を立ち上げ、仲間の輪を広げ、競技の普及と活性化を推進し



来年4月ダイワハウス工業（株）に就職が決定したX-sports部主将の田村迪大さん



経営企画室 広報担当 橋本 要 さん

ていく方針です。

しかし、Xスポーツに対して世間には、「若者がやる危険なスポーツ」というイメージが一部にあるようです。そんな世間の理解を得るために橋本さんは、「うちの部では挨拶を欠かさず、礼儀を重んじる厳しい指導を行っています。Xスポーツは難度の高い技に挑戦し、魅せる部分もあることから、自己表現の一つでもあり、競技に対する考え方や姿勢が技にしみ出ることもあります。ですから、日頃の練習を通じて学生や子どもたちの心身を鍛え、人間形成に役立てたいと思っています。それだけに、指導員もプロ選手やアマチュアのトップでありながら、その主旨を理解し、対応してくれる方を招きました」と胸を張ります。

本学もこの画期的な施設のオープンを起爆剤に、今後も学生のライフスタイルにマッチした施設の提供に務め、人材育成や文化的アプローチにおいても世界標準を目指していく所存です。

合同ライブの会場費に「補助金」を利用！ 活動の基本は、音楽を楽しむことという 軽音楽部に注目!!

洋楽、邦楽を問わず、幅広いジャンルの音楽を楽しんでいる札大軽音楽部。総勢約40名の部員が、ギターやベース、キーボードやドラムス、ボーカル等々、バランスよく別れており、楽曲やイベントによって編成を変え、ユニットを結成。日々、練習に励んでいます。その成果を披露する機会が文連祭や学校祭。さらに、学外のライブハウスでも定期的に演奏会を開催しています。



経済学部経済学科3年生 軽音楽部 部長 吉田 拓生 さん

「今夏には東海大学、北星学園大学、千歳科学技術大学と合同ライブを開催しました。その会場費に後援会からの補助金を使わせていただきました。合同ライブは今回が初めてではありませんが、新入部員にとっては貴重な経験となり、現在の実力や今後の方向性も見ることができました」と、部長の吉田拓生さんは言います。さらに、「補助金は今年初めて申請し、交付していただきました。部費だけでは賄えない活動もあるので、後援会様の援助には大変感謝しています」と笑顔。今回のライブでは、Xジャンプやスパープライの楽曲を披露し、会場は大変盛り上がりがあったそうです。今後も「音楽を楽しむこと」を基本に、経験者はもちろん、初心者も楽しめる活動を展開していきたいと、希望に胸を膨らませていました。



大盛況だった合同ライブ!

課外活動の一層の充実を願って！ 文化系サークル補助金交付式

これを愛好する者に及ばない。これを愛好する者は、これを真に楽しむ者には及ばない。まさに文化系サークルの活動に打ち込む学生に相応しい言葉と言えるでしょう。これに対し、大学側から鈴木副学長が感謝の辞を述べ、各サークルに目録が手渡されました。各サークルの代表は感謝の言葉とともに、補助金を有効に利用することを誓い、式は滞りなく終了。後援会は今後も課外活動の充実を一層強力にバックアップしていく方針であり、多くの団体からの申請をお待ちしています。

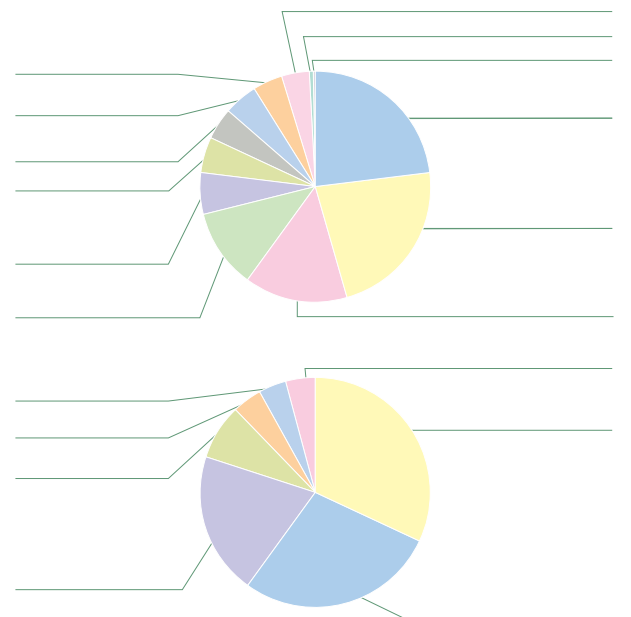
文武両道をめざす札幌大学。後援会では、体育系サークルへの支援はもちろん、文化連合会所属のサークルに対しても補助・支援を行っています。今年度補助申請のあったサークルは10団体。去る6月25日、文化連合会所属サークルへの補助金交付式が行われました。式次第は新体制になったことから、後援会役員の紹介から始まり、続いて後援会新会長に就任した猪狩氏が挨拶のマイクを握りました。猪狩新会長は「知好楽」という論語を用い、各サークルの代表に熱いメッセージを贈りました。その意味は「これを知っているだけの者は、



平成25年度 文化系サークル補助金交付式



SWITCH
make up and rest room



平成24年度事業活動及び平成25年度事業計画

平成24年度事業活動

(1) 補助事業

①課外活動への補助

交付団体名	大会名	支出金額
サッカー部	第61回全日本大学サッカー選手権大会	151,200
女子サッカー部	第21回全日本大学女子サッカー選手権大会	67,200
男子バレーボール部	第65回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会	109,200
女子バレーボール部	第59回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会	92,400
男子バスケットボール部	第64回全日本大学バスケットボール選手権大会	304,500
女子バスケットボール部	第64回全日本大学バスケットボール選手権大会	239,400
卓球部	第82回全日本大学総合卓球選手権大会	67,200
	第79回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)	12,600
弓道部	第60回全日本学生弓道選手権大会	100,800
剣道部	第60回全日本学生剣道優勝大会	33,600
	第60回全日本学生剣道選手権大会	75,600
柔道部	全日本学生柔道優勝大会	81,900
	全日本学生柔道体重別選手権大会	50,400
	全日本学生柔道団体優勝大会	94,500
少林寺拳法部	第46回少林寺拳法全日本学生大会	50,400
	少林寺拳法全国大会inかながわ	12,600
準硬式野球部	第30回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	42,000
陸上競技部	第81回日本学生陸上競技対抗選手権	16,800
札幌キャンパス応援隊	陸前高田市図書館建設ボランティア	432,600
女子羽球部	全日本学生バドミントン選手権大会	50,400
	第13回大学アイスホッケー交流戦	220,500
スケート部	第6回東日本学生フィギュアスケート選手権	8,400
	第85回日本学生氷上競技会選手権大会	16,800
	第38回東日本学生フィギュアスケート選手権	16,800
16団体	小計	2,347,800

交付団体名	文化系サークルの活動内容	支出金額
ジャズ研究会	スタジオでの定期演奏会	50,000
優法会	文連祭での研究発表	10,000
美術部	札幌大学書道部との合同作品展	30,000
書道部	札幌大学美術部との合同作品展	30,000
劇団ダイナマイト	文連祭での上演(第70回公演の練習)	50,000
アビーロード音楽研究会	文連祭でのライブ演奏	50,000
アマチュア無線部	技能強化合宿で道内を移動し無線の交信を行う	50,000
民俗音楽研究部	12月のライブハウス定期演奏会	50,000
写真部	市民ギャラリーでの写真展	50,000
9団体	小計	370,000

課外活動への補助金合計 2,717,800円

②札幌大学奨学金への援助	10,000,000円
③札幌大学学外研修援助金	3,000,000円
④札幌大学資格取得等奨励援助金	5,000,000円
⑤外国人留学生への援助	5,500,000円
⑥札幌大学大学祭への補助金	50,000円
⑦卒業祝賀会への補助金	50,000円
⑧札幌大学保護者懇談会に係る旅費への補助金	1,212,350円
⑨札幌大学地域スポーツ・文化総合型クラブへの補助金	500,000円

補助費支出合計 28,030,150円

(2) 札幌大学保護者懇談会

開催地	開催日	参加人数
札幌(札幌大学)	5月26日(土)	160
札幌(札幌大学)	9月15日(土)	174
釧路(釧路東急イン)	9月8日(土)	19
青森(青森グランドホテル)	9月8日(土)	13
帯広(帯広東急イン)	9月9日(日)	28
函館(函館国際ホテル)	9月9日(日)	22
北見(ピッツァークホテル)	9月29日(土)	17
苫小牧(グランドホテルニュー王子)	9月30日(日)	7
旭川(ロワジールホテル旭川)	9月30日(日)	23
合計		463

保護者懇談会は毎年5月末～6月、9月～10月に全道各地と東北で開かれます。就職をはじめ、さまざまなご質問やご相談にもお応えしています。



昨年の懇談会の様子(札幌)

(3) 広報活動

「後援会だより」を10月30日、3月30日付けの年2回発行

(4) 札幌大学後援会総会

日時：平成24年5月26日(土) 場所：札幌大学 2204教室

(5) 札幌大学後援会役員会

〈第1回〉

日時：平成24年5月15日(火) 場所：札幌大学 第1会議室

〈第2回〉

日時：平成24年5月26日(土) 場所：札幌大学 第1会議室

〈第3回〉

日時：平成24年12月11日(火) 場所：札幌大学 第1会議室

平成24年度決算書

平成24年度収支計算書(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

単位：円

科目	予算	決算額	増・減
収入の部			
前年度繰越金	57,918,233	57,918,233	0
第一種委員会費	37,000,000	36,610,000	△390,000
第二種委員会費	180,000	210,000	30,000
第三種委員会費	0	0	0
利息	20,000	16,988	△3,012
基金取崩収入	0	0	0
合計	95,118,233	94,755,221	△363,012
支出の部			
基金充当金	0	0	0
補助費	30,800,000	28,030,150	△2,769,850
消耗品費	70,000	53,055	△16,945
旅費交通費	450,000	333,930	△116,070
印刷費	1,070,000	912,240	△157,760
通信費	1,217,000	950,313	△266,687
支払手数料	50,000	9,500	△40,500
会議渉外費	2,020,000	1,682,446	△337,554
予備費	200,000	0	△200,000
小計	35,877,000	31,971,634	△3,905,366
当年度収支差額(次年度繰越金)	59,241,233	62,783,587	△3,542,354
合計	95,118,233	94,755,221	△363,012

平成24年度資産(現預金)・基金内訳表(平成25年3月31日現在)

単位：円

勘定科目	前年度繰越金	3月末	増減
《資産の部》			
現金(事務室保管)	24,327	17,644	△6,683
普通預金(北海道銀行西岡)	42,255,676	47,008,846	4,753,170
普通預金(北洋銀行豊平)	15,638,230	15,757,097	118,867
基金(北海道銀行西岡)	26,000,000	26,000,000	0
基金(北洋銀行澁川)	20,000,000	20,000,000	0
資産合計	103,918,233	108,783,587	4,865,354
《基金の部》			
基金(北海道銀行西岡)	26,000,000	26,000,000	0
基金(北洋銀行澁川)	20,000,000	20,000,000	0
収支差額(次年度繰越金)	57,918,233	62,783,587	4,865,354
基金合計	103,918,233	108,783,587	4,865,354

平成25年度事業計画

札幌大学後援会では、在学生を支援の主たる対象とし、各種支援事業を平成25年度も継続してまいります。主な事業計画は次のとおりです。

①後援会総会の開催(後援会活動活性化の観点から保護者懇談会【6月の札幌大学での開催】との同日開催)、②札幌大学との共催による保護者懇談会の開催(会議費、旅費交通費等の運営経費を補助)、③学生への経済的支援(1)課外活動への援助金(全国大会及びこれに準ずる大会等へ参加する部員への遠征費補助、文化系サークルの活動費を補助)、(2)学外研修への援助金(国内外の宿泊研修、臨地研修等への参加費を補助)、(3)資格取得・受験対策への援助金(能力開発センター開講講座の資格取得者への援助金、正課授業に係る資格の受験者への援助金)、(4)外国人留学生への援助金(学習奨励金を補助)、(5)札幌大学奨学金制度への援助金(成績優秀者に対する奨学金資金の援助、また23年度からは経済的困窮度を重視した生活支援奨学金の援助)、(6)地域貢献活動への援助金(めえーずの活動資金を補助)、(7)広報活動(『後援会だより』の発行)

平成25年度収支予算

収入の部

単位：円

科目	平成24年度決算	平成25年度予算額	増減額(決算額比)	摘要
前年度繰越金	57,918,233	62,783,587	4,865,354	
第1種委員会費	36,610,000	33,000,000	△3,610,000	10,000円×3,300人=33,000,000
第2種委員会費	210,000	180,000	△30,000	3,000円×60口
第3種委員会費	0	0	0	
受取利息	16,988	20,000	3,012	
基金取崩収入	0	0	0	
合計	94,755,221	95,983,587	1,228,366	

支出の部

単位：円

科目	平成24年度決算	平成25年度予算額	増減額(決算額比)	摘要
補助費	28,030,150	28,200,000	169,850	札幌大学奨学金援助金 課外活動補助金・卒業祝賀会・大学祭 新入学生奨励費 学外研修援助金・資格取得等奨励援助金 表彰 保護者懇談会(大学分旅費) 地域貢献費(札幌大学地域スポーツ)
消耗品費	53,055	70,000	16,945	事務用消耗品 コピー用紙
旅費交通費	333,930	450,000	116,070	役員会、保護者懇談会(地方)
印刷費	912,240	1,070,000	157,760	封筒 各種案内状 会報作成 印字 その他印刷
通信費	950,313	1,100,000	149,687	後援会だより発送作業・発送費2回分、会費納入案内 役員会、総会案内・保護者懇談会等の案内
支払手数料	9,500	50,000	40,500	会費納入振込手数料・業者への振込手数料
会議渉外費	1,682,446	1,970,000	287,554	役員会会議費、総会・札幌会場保護者懇談会参加者昼食費、地方会場費 祝儀等
予備費	0	200,000	200,000	
小計	31,971,634	33,110,000	1,138,366	
次年度繰越金	62,783,587	62,873,587	90,000	
合計	94,755,221	95,983,587	1,228,366	

編集後記

台風が去って、道内各地から初雪の便りが届く季節になりましたが、会員の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。年度当初の総会で猪狩哲夫さんが第三代会長に選任され、後援会は新たなスタートを切ったところです。さて、本号では、5月に開催した後援会総会と保護者懇談会の様子をお伝えするほか、札幌大学の新しい取り組みを取り上げました。その一つは、Xスポーツ部の活動と国内の大学では初めての施設「スケートボードパーク」、もう一つは、学内外の交流の場として札幌大学が開設した「インターコミュニケーションセンター(SUICC)」、どちらもユニークな試みではないでしょうか。また、会員の皆さまが常に気に留めておられる就職状況についても、大学担当者に昨年度の実績をまとめていただきました。きっと皆さまの参考にしていただけることと思います。